

4年次個人と社会（MYP 5 Individuals and Society）【地理総合：2単位、公共：2単位】

科目のねらい

すべての MYP 科目のねらいでは、教師が指導すべきこと、生徒が経験し学習すべきことを提示しています。また、これらのねらいには、学習体験によって生徒がどう変わり得るかが示されています。MYP の「個人と社会」のねらいは、生徒に以下のことを促して、習得させることです。

- 人間と環境に見られる共通点や多様性を認識すること
- 個人、社会、環境の相互作用や相互依存性を理解すること
- 環境の体系と人間の体系がどのように作用し進化していくかを理解すること
- 人間のコミュニティと自然環境の健やかさについて、問題点を特定し啓発すること
- 地域及びグローバルなコミュニティの責任ある市民としての行動すること
- 探究のスキルを養い、個人と社会とそれらが生きる環境との間の関係性を概念的に理解すること

目標および評価基準

MYP 評価観点	
A：知識と理解	i. 文脈に合った広範囲の用語を使う。
	ii. 高度な記述や説明、または事例を通して、科目ごとの内容と概念についての知識と理解を示す。
B：調査探究	i. 明確かつ的の絞られた研究課題を設定し、その関連性を正当化する。
	ii. 研究課題を調査するための行動計画を策定し実践する。
	iii. 適切で多様、かつ関連性の高い情報を収集し記録するための研究方法を活用する。
	iv. 研究のプロセスと結果を評価する。
C：コミュニケーション	i. 受け手や目的にとって適切なスタイル（文体）を効果的に使用して、情報や考えを伝達する。
	ii. 特有的の形式にふさわしい方法で、情報や考えを構成する。
	iii. 広く認知された表現技法に則って、情報源を記録する。
D：批判的思考	i. 概念、問題点、モデル、視覚表現、理論について議論する。
	ii. 情報を統合して、有効かつ論拠のある主張を行う。
	iii. 幅広い情報源やデータを出典や目的という観点から分析・評価し、その価値や限界を考察する。
	iv. さまざまなものの見方とそこに含まれる意味を解釈する。

※ねらい・目標の記述は、IBO 発行の「Mathematics guide」に基づいています。

関連概念（数学の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

総合社会科（経済・地理・歴史に基づく）			
因果関係	選択	文化	公平
グローバル化	アイデンティティー	革新と革命	ものの見方
力・権力	過程	資源	持続可能性

政治学・公民・行政学			
権威	市民権	対立	協調
グローバル化	政府	イデオロギー	統合・同化
相互依存	リーダーシップ	力・権力	権利

年間計画

(学習指導要領観点①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等、③主体的に学習に取り組む態度を示す)

時期	単元	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総括的評価課題の MYP 評価観点 (【 】内) および課題概要と評価方法	学習指導要領 観点との対応
前期 (4月～9月)	1	1. 変化 2. 個人的表現と文化的表現 3. 情報リテラシースキル	学習指導要領 公共 第1編 A 公共の扉 (1)「公共的な空間を作る私たち」 (2)「公共的な空間における人間としての在り方生き方」 (3)「公共的な空間における基本的原理」 倫理分野	「レポート」【A】【C】 生涯における青年期の意義を理解させるとともに、社会参加、伝統や文化に触れながら自己の形成の課題を考察させる。基本的人権の保障、国民主権、平和主義と我が国の安全について理解を深めさせ、民主政治における個人と国家について考察させる。個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障、法の支配やその意義・役割について理解するとともに、共生社会と個々の倫理観の醸成を図る。	①-A ③-C
	2	1. 時間、場所、空間 2. グローバル化と持続可能性 3. リサーチスキル、批判的思考	学習指導要領 地理総合 A. 地図や地理情報システムで捉える現代世界 (1) 地図や地理情報システム (2) 結び付きを深める現代世界 B. 国際理解と国際協力 (1) 生活文化の多様性と国際理解 教材「高等学校 新地理総合」(帝国書院)	①「企画書」【C】【D】 ②「レポート」【A】 地図やGISの役割を理解させるとともに、情報を収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせる。世界の人々の生活文化を場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりに着目し、主題を設定し、適切な活用の方法を多面的・多角的に考察し表現する。 よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	①-A ②-D ③-C
	3	1. 時間・場所・空間 2. グローバル化と持続可能性 3. コミュニケーションスキル	学習指導要領 公共 第2編 B 自立した主体としてよりよい社会形成に参画する私たち 政治分野 ・「法的な主体となる私たち」 ・「政治的な主体となる私たち」 教材「高等学校 公共」(第一学習社)	「レポート」【C】【D】 現実社会の諸課題に関わる具体的な主題を設定し、幸福、正義、公正などに着目して、他者と協働して主題を追究したり解決したりする活動を通して、自立した主体としてよりよい社会形成とは何かについて多面的・多角的に考察し、表現する。	③-C ②-D
後期 (10月～3月)	4	1. 変化 2. 空間的・時間的位置づけ 3. コミュニケーションスキル 自己管理スキル	学習指導要領 地理総合 C. 持続可能な地域づくりと私たち (1) 自然環境と防災 (2) 生活圏の調査と地域の展望	「レポート」【B】【C】 地理の重要な概念である「人間と自然環境との相互依存関係」を学ぶ。自然環境と防災についてよりよい社会の実現を視野に、ハザードマップや地形図を用い、課題に対して主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	③-B ②-C
	5	1. 体系 2. 公平性と発展 3. 批判的思考スキル	学習指導要領 公共 第2編 B 自立した主体としてよりよい社会形成に参画する私たち 経済分野 ・「経済的な主体となる私たち」 教材「高等学校 公共」(第一学習社)	「ユニットテスト(小論文)」【A】【D】 グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、「min-na」が幸福に生きることのできる制度について考え、国際社会における個人の生き方について考察する。	①-A ②-D
	6	1. グローバルな関わり 2. 個人的・文化的表現 3. コミュニケーションスキル、協働スキル、自己管理スキル、リサーチスキル	学習指導要領 公共 第3編 C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち 学習指導要領 地理総合 B. 国際理解と国際協力 (2) 地球的課題と国際協力	「レポート」【B】 人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。 「新聞」【C】 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題を基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などを大観し解決への取り組みに国際協力が必要であることを理解する。よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	③-B ①-C